

会長方針

2006-07 年度会長 後藤元継

2006-07年度国際ロータリー会長ウィリアム・ビル・ボイド氏は、“*LEAD THE WAY*”
—率先しよう—というテーマを掲げられました。

親睦と奉仕を通じて明るい未来をもたらすために120万人のロータリアンが力をあわせ率先していこうということです。

また次の四つの項目を強調しておられます。

1. 水保全
2. 識字率向上
3. 保健及び飢餓
4. ロータリー家族

これらは主に後開発国の人たちに対する支援を引き続き行っていこうという国際ロータリーの考え方だと思います。

廣畑前ガバナーは、ロータリーの心と原点を大切に、創立時のロータリーの精神を取り戻そうと訴えられました。

原田光久ガバナーは、方針については、皆様方と意見交換を密にしながら話し合いを進めていきたい、またRIや財団の考えは考えとして、クラブや地区においてはプログラムに優先順位をつけて活動していきたい、と述べておられます。委員会活動については、各々の委員会は活動目的を明確にし、改革すべきことは改革し、簡素化できることは簡素化を図っていただきたい、また地区委員会とクラブ委員会は密接な連携を保ちつつ皆のためになるような活動をして欲しい、と願っておられます。

1. 会員の増強と退会防止

福岡北ロータリークラブとしての適正会員数を70名と定義して、今年度が2年目になります。目標に向け努力していきたいと思っています。

会員の皆様どうぞよろしくお願い申し上げます

2. 魅力ある会の運営

まず、楽しい例会であるために、和やかで、新会員にも居心地の良い雰囲気作りを心がけたいと思います。会員一人一人がロータリー活動を通して、職場や地域でみんなの役に立っているという実感を持つためにもそれぞれの分野で活躍しておられる方の生き方、考え方を参考にできるような例会のあり方を模索していきたいと考えます。

3. 隣接クラブとの親睦を深め、姉妹クラブである高雄中興RCとの交流をはかる。

今年度は台湾高雄中興RCと姉妹クラブの提携をおこなって10周年になります。また、高雄中興RCでは創立20周年の記念行事が計画されていると聞きます。今年度は20周年記念行事にあわせてこちらから参加をし、親善の実をあげたいと思います。

4. 情報のIT化と共有化

現在の北RCは、パソコンで、週報は自前で発行しておりますし、のメールでのやり取りなど日常化しております。ファイルの管理も、充分とはいえませんが、パソコンでファイリングしております。今後は、誰にでも判る事務の流れ、事務の効率化、バックアップシステムの構築を確立していきたいと考えています。ホームページの立ち上げは物理的には可能ですが、現段階ではマンパワーの問題もあり、その時期ではないと思っています。各パートの委員会間での情報の共有化，委員間での共有化に努めていきたいと考えます。そのためには、各パートでの合同委員会を持てればと思います。

この一年間、『四つのテスト』

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

この言葉を常に見つめながらお世話をさせて頂きたいと思っています。
どうぞよろしくお願い申し上げます。